

寝屋川市内で『避難所運営訓練HUG』を実施しました！

日時：2014年11月9日（日）（9：30～12：00）

場所：太間公民館

参加者：太間町、太間東町の皆様

協力：寝屋川市

ファシリテータ：摂南大学大学院2名、学部生6名、教員1名（合計9名）

今回の見どころ

今回の防災訓練では、本学寝屋川キャンパスの隣接町である太間町で、摂南大学生がファシリテータとなる避難所運営訓練HUG(ハグ)を実施しました。HUG(ハグ)とは、静岡県が開発した避難所運営シミュレーションゲームで、各地で図上訓練として実施されています。今回のHUGでは、地震災害時に実際の避難所となる木屋小学校の図面を使用しました。また、参加者(太間町、太間東町)の皆さんは4班に分かれ、避難所開設から運営までの図上訓練を行いました。

プログラム実施風景



摂南大学学生から趣旨説明をしています。すごく緊張しました。



ゲームが始まり、学生も参加者も真剣に取り組んでいます。



班ごとに2人の学生が進行役を務め、参加者の皆さんで避難者を配置しています。



体育館、教室、運動所の使い方を決めます。各班さまざまな案が出ました。



互いに意見を言い合い、皆さん調整していきませんが、意見がまとまらない場合もあります。



学生から班ごとの配置状況をお聞きしました。「ここに配置したのか！」との会話がチラホラ。

プログラム実施結果

今回は自主防災会単独開催だったので、いつもより小さい規模でした。その分、参加者との距離が近く、学生は少し緊張しつつゲームを進行しました。参加者の避難所となる木屋小学校に関する知識には差がありましたが、意見を出し合って進めておられました。特に「ペットの配置」と「健常者と要援護者の配置」については、意見が分かれました。本学周辺地域の災害対策は、本学の防災対策にも関連することがイメージできました。

ご参加頂いた太間町の皆様、ありがとうございました。「摂南大学のご近所」でもあり、これからもよろしく願います。今回のプログラムには、寝屋川市役所に多大なるご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。